

TYPICAL WORK

かけはしがわ  
▶ 梯川の流域治水

梯川は、小松市を流域とした幹線流路延長42km、流域面積271km<sup>2</sup>の一級河川です。気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、国、県、市等が連携して、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進しています。また、2022年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめ、引堤事業や河道掘削などの対策を実施しています。

北陸地方整備局の仕事 | 01

# 河川

に関わる仕事

## 未来の安全・安心をつくる

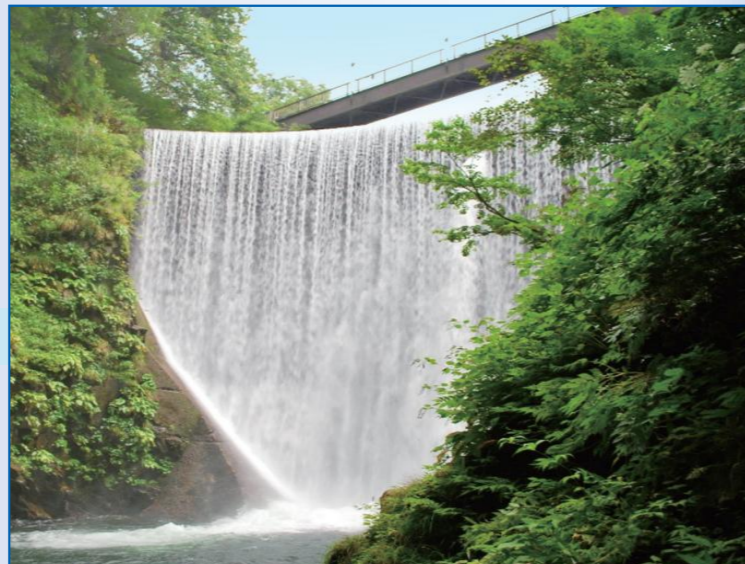
洪水や土砂災害などの自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守る河川事業。このうち、北陸地方整備局では国土保全や国民経済の点から特に重要な河川を担当し、地域で暮らす皆様の生命や財産等を守っています。

### 砂防 土砂災害から地域を守る “北陸地方整備局の砂防”

北陸地域は豊かな自然に恵まれている一方、急峻な地形、脆弱な地質を有しています。このような地形条件のもと、北陸地方整備局では、数多くの砂防事業を行い、豪雨による土砂流出から地域を守っています。

だいげん たがわ えんてい  
▶ 大源太川第1号砂防堰堤

大源太川第1号砂防堰堤は、信濃川水系魚野川右支川大源太川に築造された、国の砂防事業として日本で最初に完成したアーチ式砂防堰堤です。流麗な線形と美しい石積みが特徴で、施設周辺は四季折々の景観を活かしたレクリエーション施設が集まる地域の観光拠点となっています。近年、老朽化箇所の補強が完了し、施設完成から80年以上経った今でも現役の砂防堰堤として下流の安心・安全に寄与し続けています。



海岸事業



↑ 石川海岸(松任工区)

砂浜保全により海岸侵食や高波等の被害を防止し、背後地の住民や財産を守る海岸事業(石川県白山市)

緊急治水対策プロジェクト



↑ 千曲川

令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した千曲川。河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を緊急的に推進(長野県長野市)

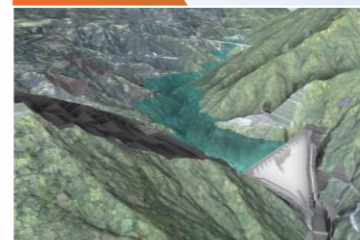
水辺のにぎわい創出



↑ やすらぎ堤(ミズベリング)

新潟市中心部の信濃川河川敷で「ミズベリング」という、官民連携したにぎわい創出のプロジェクトを実施(新潟県新潟市)

ダム事業



↑ 利賀ダム

富山県内を流れる庄川の洪水から地域を守るためのダム建設事業。3次元モデルの活用等、インフラDXの取り組みも推進中 ※完成イメージ図(富山県南砺市)

VOICES FROM THE FIELD



技術 平成27年度採用

湯沢砂防事務所  
調査課 調査係長

湯沢砂防事務所は、信濃川の支川の魚野川、清津川、中津川流域の砂防事業を行っています。私は砂防堰堤の配置計画検討や工事前の環境調査といった調査計画業務を担当しています。この地域は、平成16年の中越地震、平成23年の新潟福島豪雨など度々土砂災害による被害を受けています。砂防事業と聞いてあまりイメージがわからない方もいるかもしれませんが、砂防施設を整備することで、土砂災害から国民の生命・財産・生活・なりわいを守る重要な役割を担っています。地域の安心、安全に貢献できるよう責任感を持って業務に当たっています。



技術 平成30年度採用

信濃川河川事務所  
計画課 企画係長

大河津分水路の改修事業を推進するための企画・調査を主に担当しております。大河津分水路では、地域を洪水から守るために川幅を広げるという大規模な事業を実施しており、その一端を担うことに責任とプレッシャーを感じます。一方で、地域の安全・安心の要となる河川事業に携わっていることに誇りも感じています。事業の着手から10年が経ちましたが完成に至るまでの道のりは長いので、これからも今の職務を果たしていけるように取り組んでいきたいと思っています。



技術 平成26年度採用

利賀ダム工事事務所  
工務課 工務第一係長

利賀ダム建設事業の設計・工事発注を担当しています。利賀ダムは長い期間を経て令和6年度にダム本体工事が本格的に動き出し、令和13年度の完成に向けて工事が進んでいます。ダム建設事業はダム本体の工事のみでなく、関連する工事が多岐にわたり、トンネル工事や橋梁工事、貯水池法面対策工事など大規模な土木構造物を総合的に実施するやりがいのある事業です。ダムは治水や利水など多様な役割を担い、地域の生命・財産を守る重要な施設です。その一端を担えることに誇りを持ちながら、日々の業務に取り組んでいます。

TYPICAL WORK

万代島ルート線  
ぬったり くりのき (沼垂・栗ノ木・紫竹山道路)

万代島ルート線は、新潟バイパス紫竹山ICから中央区寄居町に至る全長約5.6kmの都市計画道路です。高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と、新潟市中心部を南北に結びます。

道路の整備により、慢性的な交通渋滞の緩和、安全性・快適性の向上、防災機能の強化、まちづくりの支援といった様々な効果が期待されます。

現在、栗ノ木道路と紫竹山道路の区間で工事が進められており、道路の立体化が最盛期を迎えています。



北陸地方整備局の仕事 02

# 道路

に関わる仕事

## 人・物・情報を 未来へつなぐ

人々の日常生活や物流に欠かせない道路。北陸地方整備局は県と県をつなぐ、広域的な幹線道路の整備、維持管理という重要な役割を担い、地域社会の発展を支えています。

メンテナンス（更新）

④ 糸魚川地区橋梁架替事業

国道8号は糸魚川市内では日本海沿岸部を通過しており、日本海からの荒波の影響を直接受ける厳しい環境です。これまで補修を行ってきましたが、劣化が激しく補修に限界があるため、計画的に橋梁の架け替えを進めています。計画的な架け替えにより、国道8号はこれまで通り誰もが安心して利用できる道路として活躍していきます。（新潟県糸魚川市）

メンテナンス（維持管理）



① 新潟バイパス

日本屈指の交通量を処理し、新潟市の交通を支えている新潟の大動脈。日々欠かさず維持管理を実施。（新潟県新潟市）

VOICES FROM THE FIELD

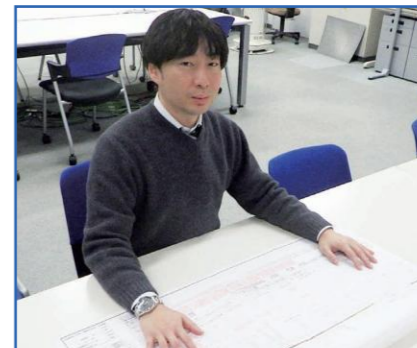


技術

平成24年度採用

新潟国道事務所  
計画課  
企画係長

万代島ルート線の事業計画や設計、予算の要求などを担当しています。新潟の交通を支える大動脈として東西方向を結ぶ「新潟バイパス」がありますが、南北の大動脈となるのが現在造っている「万代島ルート線」です。新潟の交通の流れを変え、新潟のまちが変わるビッグプロジェクトであり、その分仕事も大変です。ですが、自分のできることを一つずつ進め、将来自分が一利用者として完成した道路を通ったときに「あの時ががんばってよかったな」と思えるよう、業務にあたっています。



技術

平成21年度採用

道路部  
道路工事課  
改良係長

私は、道路整備に関する工事発注を担当しています。道路は人や物の移動を支える社会基盤であり、経済活動や地域の安全に直結する重要なインフラです。工事発注にあたっては、与えられた予算に基づき、発注規模を検討し、適正な工事価格を算出することが必要です。このような予算の効率的な運用を通じて、北陸の道路ネットワークの維持・強化に貢献しています。国の仕事ならではのスケールの大きさや、公共性の高い事業を進める点にやりがいを感じ、国民生活を支える使命感を持って取り組んでいます。



技術

平成30年度採用

富山河川国道事務所  
高岡国道維持出張所  
管理第三係長

私は富山県西部の国道8号、156号の維持管理を行っています。道路は、通勤や通学、物流など多くの人や物をつなぐ重要なインフラです。道路の維持管理は、誰もが毎日安全・安心に使える道路を守る仕事です。日々の道路パトロールで異常や落下物を見つけ、事故が起きないように早期に対応し、工事の際は工事監督として現場の安全や品質、進捗状況を確認しています。たくさんの人や物をつないでいる国道が当たり前に見えるのはこの仕事があるからこそ。国道を守り地域の暮らしを支えていることに、責任とやりがいを感じています。



事務

平成30年度採用

金沢河川国道事務所  
道路管理第一課  
占用係長

私は、道路管理者以外が道路に工作物を設置するための占用許可事務を担当しています。道路上には、電気・水道・ガスといったインフラ設備から、足場や看板など多種多様な占用物件が存在しており、中には地域活性化に寄与する物件や、人々がより快適で豊かな生活を送るために役立つ物件が多くあります。こうした占用物件に陥没や倒壊などの危険が生じることなく、安全に占用され続けられるために審査等を行うことは、大きな意義があり、やりがいのある仕事だと感じています。

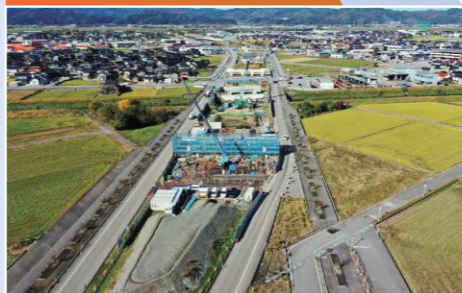
幹線道路ネットワーク整備



① 八十里越

新潟・福島県境部の通行不能区間の解消を目的とした道路事業。高度な技術を要する事業であるため、自治体に代わって国が整備を実施。（新潟県三条市～福島県南会津郡只見町）

幹線道路ネットワーク整備



① 六家立体

国道8号の高岡インター入口交差点周辺の渋滞解消を目的に、交差する県道高岡環状線の立体化を実施。国道8号の交通円滑化により、伏木富山港から産業拠点までの物流効率化が図られます。（富山県高岡市）

メンテナンス（維持管理）



① 犀川大橋

約100年前に架けられ、金沢市民に愛され続けている「犀川大橋」。適切なメンテナンスを行うことで、今も現役で活躍中。（石川県金沢市）



北陸地方整備局の仕事 | 03

# 港湾 空港

に関わる仕事

TYPICAL WORK

## 新潟港東港区国際海上コンテナターミナル

新潟港東港区国際海上コンテナターミナルは、本州日本海側で最大のコンテナ貨物取扱量を誇り、東アジア、北東アジア等の対外諸国と県内や背後圏地域を結ぶ物流の拠点となっています。現在は、船舶を波浪から守り安全な貨物の荷役作業を確保するため、防波堤整備等の機能向上を進めています。港湾の整備に伴い、背後に工場や企業が立地することによる新たな雇用の創出、クルーズ船寄港による賑わいの創出など、その波及効果は広域に及びます。

# 経済と暮らし、 そして未来を 支える「港」



## ↑ 伏木富山港

物流の拠点となる新湊地区北埠頭岸壁と陸上輸送の効率化に対応した臨港道路（新湊大橋）の整備（富山県射水市）



## ↑ 新潟空港

滑走路端安全区域の確保に係る各種施設の整備（新潟県新潟市）



## ↑ 敦賀港

複合一貫輸送ターミナルの整備による幹線輸送機能の強化（福井県敦賀市）



## ↑ 大型浚渫兼油回収船「白山」

八戸港で座礁した船から漏れた油を回収作業中の「白山」（所属：新潟港湾・空港整備事務所）

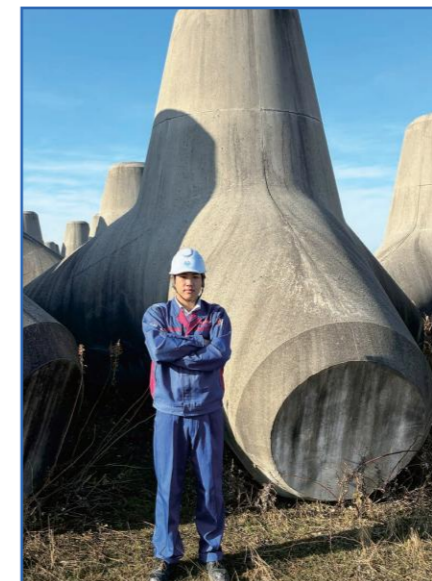
VOICES FROM THE FIELD



技術 令和元年度採用

## 港湾空港部 港湾事業企画課 技官

私は港湾の事業マネジメントや予算管理を担当しています。「港湾」は私たちの生活において直接的な関わりが少なく、馴染みがない方も多いかもしれませんが、しかし、四方を海に囲まれた日本にとって、港湾は食料やエネルギー資源など、暮らしに欠かせない貨物輸送を支える重要な役割を担っています。港湾空港部では、地域の経済活動と安全を守るため、新たな貨物の受け入れに伴う岸壁の整備や、船が安全に荷役を行うための防波堤の整備を進めています。地域からの要請に対し、大規模な事業を通じて応えられることは、国で働くことの大きな魅力だと感じています。



技術 令和6年度採用

## 新潟港湾・空港整備事務所 第二建設管理官室 技官

私は、新潟東港でカーボンニュートラルの鍵となる洋上風力発電を促進させるための基地港湾（発電設備の輸送・建設をする場所）整備事業の現場監督業務を行っています。わが国では脱炭素化社会の構築に向け、洋上風力発電をはじめとした海洋再生可能エネルギーの導入が期待されています。国で行う港湾インフラ整備は、多くの人々の暮らしを根底から支えることができるため、大きなやりがいを感じています。また、「未来の当たり前」を支える重要な重要かつ大きな挑戦に、当事者として携われることは、国の仕事ならではの魅力です。



技術 令和4年度採用

## 新潟港湾空港技術調査事務所 設計室 技官

港には、貨物を積んだ大きな船や豪華客船が行き交い、人々が交流している空間が広がっています。私は港湾施設の設計を担当しており、設計に携わった施設が利用されているのを目にすると、自分の仕事が日本の経済や物流を支えているのだと実感します。最近では、能登半島地震で被災した港の復旧設計業務が中心となっています。災害から立ち上がるための力になりたいという思いで土木の道を進んで来て、港湾空港部でそれが実現しました。私たちが担うのは、国を支える力・国がまた立ち上がる力の一部になれる、そんな仕事です。ここまで読んでくださったあなたの挑戦を待っています！

# 地域を支える、日本を支える北陸の港湾

北陸と世界を繋ぎ、北陸の成長・発展を支えています。

原材料、生活物資、食料、製造品の輸出入等、我が国の貿易量の99.6%を占める港湾。国内外からの空の玄関口である空港。海上輸送網の拠点となる港湾、航空輸送網の拠点となる空港の整備等を担当し、北陸地域の経済と暮らしを支えています。

## ↑ 金沢港

大型クルーズ船寄港に対応した岸壁の整備（石川県金沢市）



# だれもが住みやすい 「まち」づくりを“支援”

だれもが快適な生活を送るため、中心市街地の空洞化対策や良好な住宅の供給、バリアフリーなど、様々なまちづくり活動の支援を行っています。また、建設業や宅地建物取引業等の健全な発達のための指導、監督業務を行っています。

# 都市・公園

に関する仕事



TYPICAL WORK  
① 国営越後丘陵公園 (新潟県長岡市)

# 営繕

に関する仕事



TYPICAL WORK  
① 新潟美咲合同庁舎1号館、2号館  
北陸地域の防災拠点として整備された(新潟県新潟市)



① 金沢城公園  
(石川県金沢市)



① 富山駅南北接続事業  
(富山県富山市)



① 発酵ミュージアム 米蔵  
(新潟県長岡市)

## 時代のニーズに対応した、公共建築

国土交通省では、国の行政機関が入居する「官庁施設」のほか、除雪車両を格納する「除雪ステーション」、道路利用者の休憩と地域振興が一体となった「道の駅」など、多様な公共建築物を整備しています。災害時には、利用者の安全確保だけでなく、地域における災害応急対策活動の拠点施設や避難施設など、防災拠点としての機能も担います。



① 若手職員研修風景

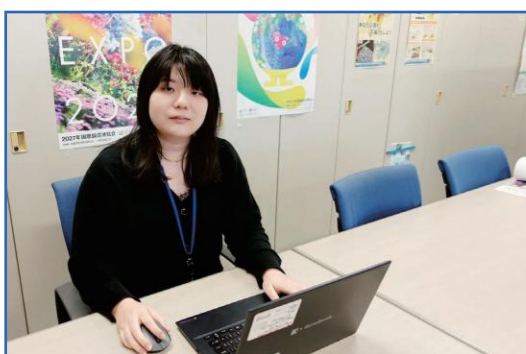


① 新潟地方検察庁三条支部  
(新潟県三条市)



① 下越森林管理署村上支署  
(新潟県村上市)

VOICES FROM THE FIELD



技術 平成27年度採用

### 建政部 都市・住宅整備課 企画調査係長

都市・住宅整備課では、自治体が進めるまちづくり、住まいづくりを交付金・補助金制度の活用を通じて、国の立場から支援する業務を行っています。現在私は、都市整備や公園整備に係る全般的な内容を担当しており、国土交通省都市局で発信される情報や全国

のまちづくり事例を基に、自治体が目指すまちづくりの実現に向けた助言や橋渡しをしております。自治体と直接やりとりした建物や空間が実現するなど、まちづくりの発展を肌で感じることができ、やりがいのある仕事と感じています。



事務 令和6年度採用

### 建政部 計画・建設産業課 事務官

私は、建設業者が建設業を営む際に必要となる建設業許可や、公共工事を直接請け負うために必要な経営事項審査、立入検査などの業務を担当しています。申請された書類を確認し、業者によって審査内容や判断に差が生じることをのまないよう、常に公平性を意識して審査を行っています。国の制度に基づいて業務を行うことで、建設業界が安心して活動できる環境を支えていると感じています。社会基盤を支える仕事であることに責任とやりがいを感じ、人々の暮らしに関わっているという意識を持って、日々業務に取り組んでいます。

VOICES FROM THE FIELD



技術 令和4年度採用

### 営繕部 保全指導・監督室 技官

私は設計担当や現場監督として、北陸地域の官庁施設の新築や改修に携わっています。担当している施設は一般的な事務庁舎だけでなく、裁判所や海上保安署などの特殊な用途の施設もあり、日々仕事の中で新たな発見や学びがあります。能登半島地震で被害のあった施設の新築設計も担当しており、微力ながら地域の復興に携わっていると感じています。官庁施設は、働く人、訪れる人、高齢の方や障がいを持つ方など、様々な人に何十年間も利用いただく建物です。多くの人が快適で安全に利用できる建物をつくることを意識して仕事に励んでいます。

# 機械

に関わる仕事

## 地域の安全・安心な暮らしを「機械」で支える

河川、道路の機能を発揮するために必要な機械設備・建設機械や災害対策用機械の整備と運用管理、建設事業の施工技術開発・支援を行い、安全で安心な住みよい地域社会の実現に貢献します。

新潟県湯沢町での除雪作業



VOICES FROM THE FIELD



技術

平成28年度採用

長岡国道事務所 防災情報課 管理第三係長

道路の維持・管理に使う除雪機械や維持用車両などの建設機械のメンテナンスを行うほか、消融雪設備などの道路施設の整備を担当しています。新潟県中越地域は、日本有数の豪雪地域を抱える雪国であり、冬期における道路交通の確保と地域住民の安全安心な生活を支えるためには、除雪機械や消融雪設備の確実な機能維持が不可欠です。これらの設備や機械

が適切に機能しなければ、通勤通学や物流などの日常生活に大きな支障をきたす恐れがあります。そのため、機械職員として、日頃から設備の状態を的確に把握し、必要な維持管理や更新を行うことが重要な役割であると認識しています。このように地域の暮らしを支える重要な業務を担っていることに責任と使命感を持ち、日々の業務に取り組んでいます。

### TYPICAL WORK

#### 技術開発

現場における技術的課題の解決や、作業の効率、安全な施工などに対応するため技術開発に取り組んでいます。開発した技術は、保有する建設機械や運用するためのシステムとして活用しています。



↑除雪作業装置の自動制御イメージ  
—除雪トラックの自動化—  
車両位置情報を利用した作業装置の自動化技術を開発し、作業員の負担軽減と作業の効率化を図りました。



↑ロータリ除雪車



↑排水ポンプ車

#### 建設機械の整備

河川、道路の維持管理に必要な建設機械を保有しています。確実、効率的な運用を行うため、建設機械の配備計画を策定し、必要な整備の検討、適切な点検整備を行っています。



↑新潟大堰（新潟県新潟市）



↑宇奈月ダム（富山県黒部市）

#### 機械設備の整備

河川、道路の土木構造物と一体となって機能を発揮する機械設備（河川・ダム用ゲート設備、消融雪設備等）の新設、維持管理、更新を行っています。

# 電気・情報・通信

に関わる仕事

## 社会インフラを支える情報通信ネットワークを形成

河川や道路等の安全で安心な利用のため、情報通信技術を用いたネットワークや情報システムの整備、運用、維持管理をします。災害が発生した場合には、衛星通信車等の災害対策設備を駆使し、迅速な対応に寄与しています。

大川ダム操作室（福島県津若松市）



VOICES FROM THE FIELD



技術

平成29年度採用

富山河川国道事務所 情報技術課 電気情報係長

国土交通省と電気・情報通信…ピンとはこないですね。まずは電気です。職員が働く庁舎の電気設備、非常用発電設備や道路照明などがあります。次に情報通信です。光ファイバーケーブルを河川・道路沿いに敷設し、高速大容量の通信網を全国に構築しています。さらに、災害に強い無線通信網も全国に構築してい

ます。そして、CCTVカメラ、テレメータ、道路情報板など情報通信技術を活用した様々な設備もあります。私たちはこれらの整備・点検・運用をしています。平常時でも災害時でも日本全国を通信で結び、電源を確保し、情報を提供することで安全・安心な社会を支える仕事に、私は魅力を感じています。

### TYPICAL WORK



↑受変電設備の点検

#### 安定的な電力供給

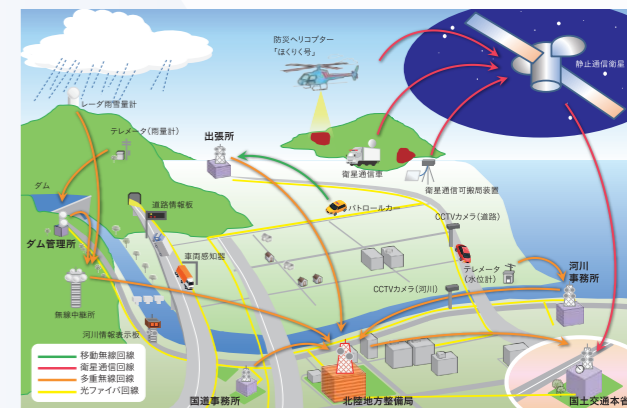
通信機器や河川、道路、ダム等の施設へ安定的に電気を供給するための設備や、車の安全な走行に欠かせないトンネルや橋の照明等を整備点検しています。



↑ヘリコプター映像伝送装置

#### 迅速な災害対応

災害発生時には機動力のある通信システムで、災害現場等の情報を迅速に把握し、国土交通省内はもとより、地方自治体にも映像等を伝送し、的確な災害対応を可能にします。



#### 的確な情報提供

河川、道路、ダム等を適切に管理するために、様々な機器を用いて情報収集を行っています。集められた情報は地域住民や施設利用者にも提供しています。



↑道路情報板



↑聖高原レーダ

#### 強固な情報通信ネットワーク

全国の国土交通省の拠点や都道府県さらに防災関係機関を多重無線回線と光ファイバ回線でネットワーク化し、情報を確実に伝送する通信網を構築しています。

# 事務官の仕事

## 管理 に関わる仕事

国が管理する河川・道路・海岸などの保全と安全を図るため、河川敷地・道路・海岸保全区域の利用や占用に対して問題ないかを審査する「許認可手続き」業務などを行っています。道路などを新しく整備する際には管理区域の変更や供用手続きといった業務も行います。現地立ち会いやパトロールなど現場に赴く機会も多い仕事です。



事務 令和4年度採用

信濃川河川事務所  
占用調整課  
事務官

信濃川河川事務所では新潟県内を流れる信濃川中流域を管理しており、私は河川利用の許認可事務を担当しています。河川に橋を架けたり、河川敷に公園を造るといった場合には、河川管理者の許可を受ける必要があります。許可を受ける際には「許可申請

書」を申請者から提出してもらい、その受付・審査、許可書の発行までを行っています。業務では様々な法令や技術的知識が必要となり悩むこともありますが、同僚や上司と相談しながら進められ、学びが多くやりがいのある仕事だと感じています。

## 総務・経理 に関わる仕事

「総務」には、給与計算、福利厚生、庁舎管理など、北陸地方整備局で働く職員の処遇や職場環境に関する業務などがあります。「経理」には、工事を発注するための契約業務、備品等の購入をするための契約業務、国の建物などの財産を管理する業務、工事代金の支払いなど多額な予算執行に関する業務などがあります。



事務 令和元年度採用

羽越河川国道事務所  
総務課  
事務官

事務所において債権や国有財産・物品管理など幅広い業務を担当しており、国の円滑な事業推進のための基盤を支えています。例えば物品管理では、庁舎内の備品から工事用の機材、車両などの資産を適切な状態で保管し必要な時に使えるよう、購入から廃棄までを一

貫して管理しています。国の重要な資産を扱っているという重みを常に意識し、さまざまな法令やルールを遵守しながら誠実な仕事を心がけています。目立つ仕事ではありませんが、信頼される行政運営を裏側から支えている、という意識がやりがいにつながっています。

## 用地 に関わる仕事

公共事業に必要な土地の取得等とそれに伴う損失の補償を行うため、事業計画の説明、補償対象（土地や建物）の調査、補償金の算定、権利者との交渉、補償契約の締結、登記、補償金の支払い等、一連の手続きを行っています。補償金の算定に必要な基準は、公共事業を進める地方自治体に対しても、研修等を通じて説明・指導しています。



事務 令和6年度採用

新潟国道事務所  
用地第二課  
事務官

私は国道116号の用地取得事務を担当しています。用地取得は公共事業で必要となる土地を地権者からお譲りいただく業務であり、事業を進めるためのスタートラインとなるものです。ご協力いただくためには、地権者との信頼関係を

築くことが欠かせないため、誠意を持った対応を心がけて仕事に取り組んでいます。お譲りいただいた土地が開通に向けて一歩ずつ進んで行く様子を間近で見られることに、大きなやりがいを感じています。